

新潟大学人文・法・経済学部同窓会会津支部

会津支部だより (第十号)

平成三十年三月一日発行

会津支部創立10周年

6月10日(土)に記念大会開催

支部長 町田久次

わが新潟大学人文・法・経済学部同窓会会津支部にとって、平成19年の支部誕生以来の大きな節目を飾る「会津支部創立10周年記念大会(総会)」が、平成29年6月10日(土)に、いつもの会場である会津若松駅前・会津迎賓館で、これまでになく、盛大かつなごやかな雰囲気のもとで開催されました。

いくつも並んだ円卓テーブルは、会津支部の懐かしい面々ばかりでなく、交流の深い新潟五十嵐会、首都圏支部、山形県支部、福島県中央支部などから、過去最高である44名の皆さんに囲んでいただきました。名簿を見ますと、昭和三十年代、四十年代、五十年代の同窓生が続いたほか、嬉しいことに、平成時代に入って若手・中堅の卒業生は、現役学生を含めると17人を数えました。遠方からは、大阪在住の羽染盛夫さん(昭和53年卒、会津出身)の顔も。

第一部の総会では、はじめに10周年の功労者の表彰を行い、会津支部結成にご尽力を賜りました小松忠夫さん(初代支部長・昭和30年卒)と森文

会津支部だより

第10号

平成30年3月1日

編集発行

新潟大学
人文・法・経済学部
同窓会会津支部

(発行人) 町田久次
(事務局)

会津若松市川原町2-26

☎ 090-2026-8442

(鈴木伸康宅)

雄さん(元副支部長・昭和44年卒)に、町田支部長から感謝状が贈られました。両人からは、支部創立時の懐かしいエピソードが披露され、拍手を浴びました。

また、ご来賓として出席いただきました田辺進二同窓会長、馬場健法支部長、各地の支部長、各地方の支部長より、お祝いのごあいさつや、心のこもったスピーチを頂戴いたしました。

第二部の祝宴では、アトラクションとして新大生のシンガーソングライター、岡村翼さん(秋田県出身)が、静寂を鳴らすピアノ演奏と、優しく



同窓会の発展を願って皆で頑張りましょう

力強い歌声を響かせてくださいました。

また、各テーブルにマイクを回す恒例の「一言・近況報告」では、参加者全員が、学生時代の思い出や今の仕事や生活を語ってください、交流や新たな仲間づくりの時間が足りないほど、大いに盛り上がったものでした。

このたびの10周年大会でも、毎年好評を博している「名入り猪口」や「箸」など、会津漆器(小野寺漆器店提供)のプレゼントが行われ、会津の地場産品への関心も高まったと思われまます。

また、今年も会津支部の総会でお会いしましょう！ とにかく、会津支部は面白い、楽しい！ そんな支部活動を目指していきたいと考えております。

平成30年度会津支部定期総会

6月10日(土)開催

平成30年度の新潟大学人文・法・経済学部同窓会会津支部定期総会は、平成30年6月9日土曜日午前11時から、会津若松駅前の会津迎賓館にて開催いたします。

会津にちなんだ講師をお招きして、時宜にあったお話をさせていただく予定で、人選を進めております。「猪口」「箸」「箸置き」と三点セットがそろった方々に、新たな記念品を準備して理事一同お待ちしております。

皆さん、総会への出席方、何卒よろしくお願いたします。

随想

私の2年間の大学生活

上野 莉奈

平成26年経済学部卒

皆さん、3年次編入という入学制度をご存知でしょうか。短期大学や高等専門学校卒業生を主な対象とした、4年制大学に3年生から入学できる制度です。私は、この制度を使って、経済学部へ入学しました。

それまで地元の小さな短期大学に通っていた私は、広大なキャンパスに驚き、大きな学食（しかも三つもある。）や生協、ローソンを目のあたりにして、「この敷地の中だけでも十分暮らせる！ 凄い、これが大学か！」と感動し、一方で、各講義棟の広さになかなか慣れず、何度も何度も迷子になっておりました。

たった2年間の大学生活でありましたが、様々な出身地の方々と友達になれたり（短期大学は地元だったので、ほとんどの方が福島県出身者でした。）、他の学部のいろいろな講義を聴けたりと、数多くの経験を通して、視野を広げられた大変充



餃子消費量日本一へ貢献できたかな

実した2年間でした。

卒業してからは、特に新潟へ遊びに行く機会もなく、新潟大学とも疎遠になっておりましたが、昨年の10月に初めて「若手会」に参加させていただき、同窓生の方々と楽しく時間を過ごしている間に、無性に学生時代が懐かしくなり、また大学へ行ってみたくくなりました。

今年、大学時代の友人を新潟に誘って、そして是非とも新潟大学を訪れてみたいと思っております。ついでのと言ってはなんですが、学生の頃はお金がなくて食べられなかった新潟の美味しいものをたくさんいただきながら、当時の思い出話をして、過ごしてみたいと思います。

随想

新人です

佐藤 貴子

平成29年法学部卒

平成29年法学部卒の佐藤貴子と申します。出身は会津若松市で、葵高校を卒業いたしました。現在は、第四銀行会津支店に勤めております。

学生時代は、バドミントンサークルに所属しておりました。先日、サークルの友人、先輩方、後輩と一緒に、月岡温泉で忘年会をしました。話は尽きることがなく、学生時代に戻ったように楽しい時間を過ごすことができました。卒業した今でも、変わらずに仲良くしてくれる友人たちと出会えたことは、私が大学生活で得た一番大きなものです。

また、昨年は初めて支部総会に参加させていただき、さらに「若手会」にも出席させていただきました。



私を見つけて!! ヒントはこのページにあります

たくさんの方々とお話する機会があり、学生時代には出会うことのなかった方々とのつながりは、とても新鮮でした。

これから社会人として、人とのつながりを大切にしていきたいです。また是非総会などにも参加したいと考えております。社会人として未熟な点ばかりの私ですが、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

※写真で私がどこにいるか当ててください。正解は、第四銀行会津支店の窓口にお越しいただくと分かるようになっていきます。新商品をたくさん揃えて待っています。

随想

社会人生活

木戸 拓也

平成29年経済学部卒

私は、昨年の4月から今までの学生生活に終
止符を打ち、社会人として新たなスタートを切
りました。

そこで今回は、社会人になって約1年が経過
して感じた「学生」との違いをテーマとして、
自分の考えを表現したいと思います。

主に二つの大きな違いがあると私は思います。
まず、一つ目は、「責任」です。学生時代は、
両親や学校が私たち一人ひとり見守ってくれ、
失敗や過ちを起こしても立ち上がるようにサポ
ートしてくれました。しかし、社会人はそうで
はありません。小さい失敗や大きな失敗などは
関係なく、過ちを起こしてしまうと周囲に迷惑
をかけ、多大な影響を与えてしまいます。その
ため、学生時代のような「何とかなる。誰かが
助けてくれる。」という曖昧な気持ちではなく、
常に社会への影響を考え、責任感を持ち、日々
行動していかねばならないと思います。

二つ目は、「時間の使い方」です。学生時代
は、決められたことを決められた通りに行い、
他の時間は自由に使っていました。しかし、社
会人はそうではありません。就業時間等があり
ますが、その中で何をどのような順番で行うか
は、その人によってです。そして目標を達成す
るためには、逆算して過程を考え、行動してい
く力が必要になります。社会人は、時間を上手
に使うていかないと、効率よく業務や目標を達



小野寺さんを偲んで

昭和59年 人文学部卒 鈴木 伸康

会津支部副支部長 小野寺克司さんが、
平成30年1月11日に急逝されました。69歳
でした。

平成29年に、小野寺さんの体調不良により、
後任の事務局長にさせていただきました小職が、
謹んでお悔やみ申し上げます。

今から10年前、小野寺さんからお電話をい
ただき、「鈴木さん、今度新潟大学の同窓会の
会津支部を立ち上げるから、役員になってくれ。」
と要請がありました。日ごろのおつきあいから、小野
寺さんからの依頼を断れない立場であった私は、
引き受ける旨回答しました。

以来、新潟の総会へは、私が車を運転して、
小野寺さんに助手席に座っていただくことが多
く、車中では、当時の大学の状況などを熱く語っ
てくださいました。そして何より、六花寮の寮生活
を特に話題にしたものです。私が五十嵐寮の一期
生と伝えて、同じ寮の話をしようにしても、六花
寮以外は寮として認めていただけませんでした。
総会後に、六花寮が見たいとお話され、一緒に
六花寮に行ったことがありました。まるで少年のよ
うなキラキラしたまなざしで寮の建物を見上げてい
らっしゃいましたのが、とても印象に残っています。

小野寺さんほど、大学を、新潟の街を、六花
寮を愛した人はいなかったのでは。私は、新潟に
行くたびに、小野寺さんのことを思い出すでしょう。

成できないと思いますので、時間配分力を身に
つけ、仕事ができるように努めていきたいです。
最後になりますが、私たち若い世代が福島県
を盛り上げ、地域活性化に努めていきたいと思
います。



職場旅行でのひととき



在りし日の小野寺さん(中央)

小野寺さん、安らかにお眠りください。いつまでも、あた
たかく私たち後輩を見守りください。
ありがとうございました。そしてお疲れ様でした。

活発に支部間交流

会津支部から県内外の同窓会支部を訪問する平成29年度の「支部間交流事業」が、昨年度に引き続いて活発に繰り広げられました。

これまで、首都圏支部、山形県支部、長野県支部、群馬県支部など、訪問してきました。平成29年度は、同窓会本部の助成を受けた公式訪問として、会津支部が創立時からお世話になってきた東北支部（宮城県仙台市）へ。8月26日に開催された東北支部総会・懇親パーティに、町田久次支部長が参加し、東北支部の皆さんと交流を深めてきました。

東北支部は、東北地方で最も早く誕生した支部であります。その後東北各県に誕生した各支部の「生みの親」という存在です。さすがに、仙台市は東北の中心地だけに、同窓会の層の厚さと広がり、目をみはるものがありました。



五十嵐会の皆さん 今後ともよろしくお祈りします

また、会津支部の公式訪問事業として、7月22日に郡山市で開催された福島県中央支部の総会には、町田支部長と鈴木伸康事務局長、飯塚勇監事の3名が訪問し、さらなる交流にあたりました。このほか、活発だったのは鈴木事務局長。他支部とのネットワークをさらに広げて固めてきたいと、単独で首都圏支部（6月24日）、群馬県支部（8月26日）、秋田県支部（9月1日）、新潟五十嵐会の新大OB懇談会（10月25日）などと、各地区を駆け巡りました。その情熱は、他に見ないものです。本当にお疲れ様です。

第2回若手会開催

平成29年10月20日（金）に第2回若手会が開催されました。昨年を上回る15人の参加（役員を入れると20人）をいただき、会場も若者向けに？に神明通りのイタリアンレストランでの開催でした。

ほぼ全員が二十代で、大学の飲み会のように、冒頭からリラックスして、和やかな雰囲気での進行しました。総会の案内には返事をよこさなかった人が、この若手会をきっかけとして、同窓会つて楽しいと思ってもらったようです。

また、総会で知り合った方が、横のつながりで、ここにも、あそこにも新大生がいるよと連絡をいただきまして、その結果、初対面の人も多くいらっしやいました。

毎年福島県からは百人以上の方が新潟大学に入学されています。福島県中央支部も含めれば、同窓会には数十名の人文・法・経済学部の同窓生が生まれています。この支部だよりをご覧になった、

若い同窓生の皆さん、ぜひ誘いあわせの上、同窓会行事にご参加くださいますようお願いいたします。今回参加してくれた皆さんが、会の最後の「一人一言」で、「参加してとてもよかった。」とおっしゃっていただきました。役員一同さらに同窓会の輪が広がるように企画立案して参りますので、毎年ご参加の上、楽しんでいってください。

編集後記

支部創立10周年記念大会も成功裏に終了し、支部間交流を含め、昨年からの開催の「若手会」も15人の出席と順調に活動してきた会津支部ですが、新年早々に小野寺副支部長を失うという試練にみまわれた平成29年度も間もなく終わりを迎えます。

支部だより第10号は、若手会の方々に協力してもらい初々しさが前面にでたと思います。

さて、私事ですが、この3月末で定年退職となり、公務員生活も終わりとなりました。同窓会の皆様には、大変お世話になりました。

振り返ってみますと、大学卒業後、地元新潟のスーパーマーケットに就職した私は、鮮魚部門に配属され、毎日、ブリ5本、サバ2箱の三枚おろしに始まり、冷凍マグロのブロックの柵どり、イカの皮むき等、午前中はお茶飲みなどあるわけがなく、多忙な日々を送っておりました。

ある日目覚めると、右手が開きません。なんと腱鞘炎になっていたので、指定医院の受診を勧められ、即手術となりました。右手に包帯を巻いて勤務していたところ、店長から見た目が悪いと言われ、薬局で肌色のシートの絆創膏を買って、何事もないうちに作業をしました。おかげさまで、左手でなんとか客使用と歯磨きもできるようになりました。これがきっかけで転職して会津に戻ってこれました。禍福は糾える縄の如し。昭和55年法文卒の理事からのお礼とごぶやきてした。

（理事・編集担当 小端国彦）